



南柏リビング通信 vol.12

2024. 3. 1

発行元：(株)南柏リビング 所在地：千葉県流山市加 5-1700-1
TEL:04-7197-4519 E-mail:info@minamikashiwa-living.co.jp



みなさんこんにちは。南柏リビング代表の川村です。実はわたくし2017年からYouTubeをやっています。素人の手作りですが、最近チャンネル登録者数も2000名を超え静かなブームです(笑)前々から吉田類の酒場放浪記みたいなものを作りたいと思っていたのですが、この度、動画制作のプロ(株)ロボインク.)さんをお願いして実現しました。地元企業の経営者の方をゲストとしてお招きし、酒を飲みながらお話しするトーク番組です。



第1回のゲストは流山市の不動産業者「加藤屋商店」の代表「藤原八千代」さん。月1回のペースで開催予定。ぜひ一度ご視聴ください。ご視聴は右上のQRコードからどうぞ。

流山本町ひなめぐり

今回で第9回を迎える流山商工会議所女性会主催「流山本町ひなめぐり」に

連動しまして、(柏市内ですが) 昨年引き続き当社光ヶ丘店にもお雛様を飾りました。店内が一気に華やぎ、またご来店のお客様にもご好評をいただいております。特に女性のお客様はご自身のお雛様の思い出をお話くださるなど、いつもとは違う交流が生まれ、飾った甲斐もあるというものです。(結構大変なんです、七段飾り設置するの...) 私と妹が実家を出てから出番が間遠になっていたお雛様も、いろんな方に褒められてうれしそうに見えますね。「ひなまつりが終わってすぐに雛人形をしまわないと婚期が遅くなる」という言い伝えがありますが、それはあくまでも俗説。お節句が過ぎたのにいつまでも雛人形を出しておくようなだらしなさを戒めるための警告に近いものだったとか。お知り合いの雛人形作家さんによると、近年は子育てを終えられた女性が「ご自分のための小さなおひなさま」を買い求め、インテリアとして一年中飾ることも多くなったと聞きます。あるだけで気持ちに華やぎを与えてくれるお雛様をずっと手元で飾ってみたい気持ち、わかるような気がします。



ずぶの素人ですが、結構前から小説を書いています。

小説家デビュー!?

自分ではかなり自信作で、多くの方に読んで欲しいと思っていますが、自費出版はお金がかかるので、ただで本を世に出すのは、文学賞しかないと、せっせといろいろな賞に応募しておりました。当然ながら、素人が太刀打ちできるほど世の中は甘くなく、落選続きで気分も沈んでおりましたが、妻から「文章はあれだけど、ストーリーは面白いから、ネットにでも投稿してみたら? タダだよ。」と勧められました。「文章はあれ」に若干引っかけましたが、良いことを教えてもらったと先日「小説家になろう」というwebサイトに投稿し、以後、毎日、続けています。内容は、私がサラリーマン時代(銀行員)に経験した企業再生をベースにしている、自分では半沢直樹にも負けていない気が(笑) そのタイトルは「稟議は匝(めぐ)る」ぜひ一度、お読みいただければ幸いです。 自称小説家「川村 拓也」

